

One Osaka!
大阪維新の会
おおさかいしんのかい

めざせ! One大阪
ISHINTIMES
維新タイムズ
Vol.1
2013年度

編集・発行=大阪維新の会大阪府議会議員団
<http://osaka-ishin.jp/>
〒540-8570
大阪市中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府内)
TEL(06)6946-5390
FAX(06)6946-5391



大阪の魅力発信にもっと力を!

平成25年3月12日、府民文化常任委員会にて質問に立ち、関係部局に大阪府の見解を求めました。

大阪維新の会 大阪府議会議員

富田 武彦 とみた たけひこ の府政報告

御堂筋kappoと御堂筋フェスタの同日開催について

Q これまで春と秋にそれぞれ開催されていた御堂筋kappoと御堂筋フェスタ、今回私の提案を取り入れて頂き、5月に同日開催されるとのこと、感謝いたします。同日開催することにより交通規制等、来場者の安全確保にも一体的に取り組むべきでは?また両イベントのプログラムが多いため来場者にわかりやすくする工夫が必要では?

A 都市魅力創造局副理事

来場者の安全確保は最優先で取り組むべきと考える。両イベントの警備・運營業務を取り扱う委託事業者を同一にすることで一体的な警備体制や運営体制を構築するとともに一斉放送設備の導入により危険情報の共有化を図る。また来場者にイベント情報をわかりやすく提供するため、ホームページの活用、両エリアが一目でわかるガイドマップの作成、運営スタッフによる適切な案内ができる体制作りをし、両イベントを楽しんで頂けるよう取り組みたい。

— 富田より要望 —

御堂筋パレードのようにキタからミナミまで御堂筋の持つポテンシャルをフルに活用することが大事。国内外に向けてインパクトのあるイベントとなり、「グランドデザイン・大阪」の趣旨にも沿うよう、開催エリアと開催時間の拡大を望む。

御堂筋イルミネーションについて

Q 昨年10月の府政文化常任委員会でも指摘した通り訪れた人がただ光を見るだけでなくキタからミナミへの回遊性を高めて人の流れをつくる必要がある。そのために民間事業者と連携して積極的に取り組むべき。

A 都市魅力創造局副理事

今年度より大阪の都市魅力創造の融合・統合の一環として、これまで中之島で行われていた光のルネサンスと一体化しOSAKA光のルネサンスの名称に統一して実施。それに伴い民間主体の光イベントとも連携し合同プロモーションを実施。賑わいづくりに関しても梅田から難波まで広範囲に展開。「まちあるきプログラム」の名称でロゴ入りカード60万枚を作り周辺商業施設等約400店舗と連携して実施。広報が充分でなかったなど課題もあるが来年に向けての期待も大きい。

— 富田より要望 —

民間の光イベントや商業施設等と連携した官民による取り組みが重要。大阪の冬に多くの人々が訪れるようPRを強化して欲しい。大阪を世界に誇る「光のまち」にするため府市が一体となって取り組むことを望む。

おおさかカンヴァス推進事業

Q 平成22年度から3年間の実績や成果は?毎年、展示場所の考え方やスケジュールなどが変更されており作家側からすると目的やねらいがわかりにくいのでは?カンヴァス事業の醍醐味は都市の中で表現されるアート作品としての素晴らしさ。そうした観点から来年度の事業の進め方と今後の展望は?

A 文化課長

スタートしてから3年間で624件の応募があり、そのうち77件の作品展示を実現。公共空間を活用するという目的に対して、通常は法令等の規制のためアート作品の展示が困難な場所での展示も実現してきた。中之島公園での「水都大阪フェス」と連携した際には24万人の来場者、40件を超えるメディアからの取材など大きな反響があり、大阪の都市魅力の発信に寄与できたと考えている。今年度は集客力を強化し他イベントと連携するとともにコスト削減にも取り組んだ。

— 富田より要望 —

他イベントとの連携に関しては御堂筋イルミネーションとともに「光のカンヴァス」という事業はどうか。これからも府民に感動を与えるような展開を期待する。

トップアスリートによるスポーツ指導

Q 競技力の向上や規律のためとはいえ暴力や暴言によるスポーツ指導は子どもたちの心と体に大きな傷を残すものであり、決して許されるものではない。体罰によらなくてもスポーツの魅力に触れることができれば自主的に前向きに取り組んでいけるのではないかと。プロスポーツ選手やアマチュアのトップ選手とふれあえる機会を設けているが、子どもたちだけでなく教員にもそういう機会があると望ましい。

A 生涯スポーツ振興課長

スポーツが子どもたちの夢や希望の大きな源泉となっていると強く感じる。現在、在阪のトップスポーツチームや団体の協力を得て大阪スポーツ王国事業を展開中。トップアスリート小学校ふれあい事業やキッズスポーツフェスティバル、観戦優待事業などでふれあえる場を提供し好評を頂いている。教員においても一緒に体験談を聞いたり実技指導を受けたりという場を設け参考にしてもらっている。今後も機会の確保に向けて取り組みたい。



大阪マラソンについて

Q 昨年2月・9月の定例会においても大阪マラソンの開催日の固定化を提案したが今後の固定化は可能か?他のマラソン大会と重なることがなくなり、参加者や沿道での応援も増え、周辺商業地域にもメリットがあるかと考えられるか?

A 副知事

開催日の固定化は大阪マラソンの定着化を図っていく上でも、交通規制などの広報を行う上でも重要な課題であると認識している。

— 富田より要望 —

大阪マラソンの将来を見据えた方向性を検討する時期では?他のマラソン大会にはない「大阪らしさ」をもっと発信し魅力ある大会にしていけるよう取り組んで欲しい。

私の提案

大阪マラソン 開催日の固定化が実現!

今年から毎年10月の最終日曜日に
行われることとなりました。



■質問の詳細については下記のHPをご覧ください。

<http://www.hstomita.jp/> または
<http://www.gikai-web.jp/dvl-osakahu/> (大阪府議会ネット中継)

■府政に関するご相談やお問い合わせは

〒546-0043

大阪維新の会 大阪府議会議員

大阪市東住吉区駒川2-1-41

とみた たけひこ

TEL/FAX (06) 6709-5551

富田武彦 事務所まで

E-mail: support@hstomita.jp